

(令和4年度版)

国家公務員採用一般職
農村振興技術系(調査計画)
採用案内

～農村政策に関心のある皆さまへ～

農村振興技術系(調査計画)のご案内

農林水産省ビジョン・ステートメント

いのち わたしたち農林水産省は、
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

も く じ

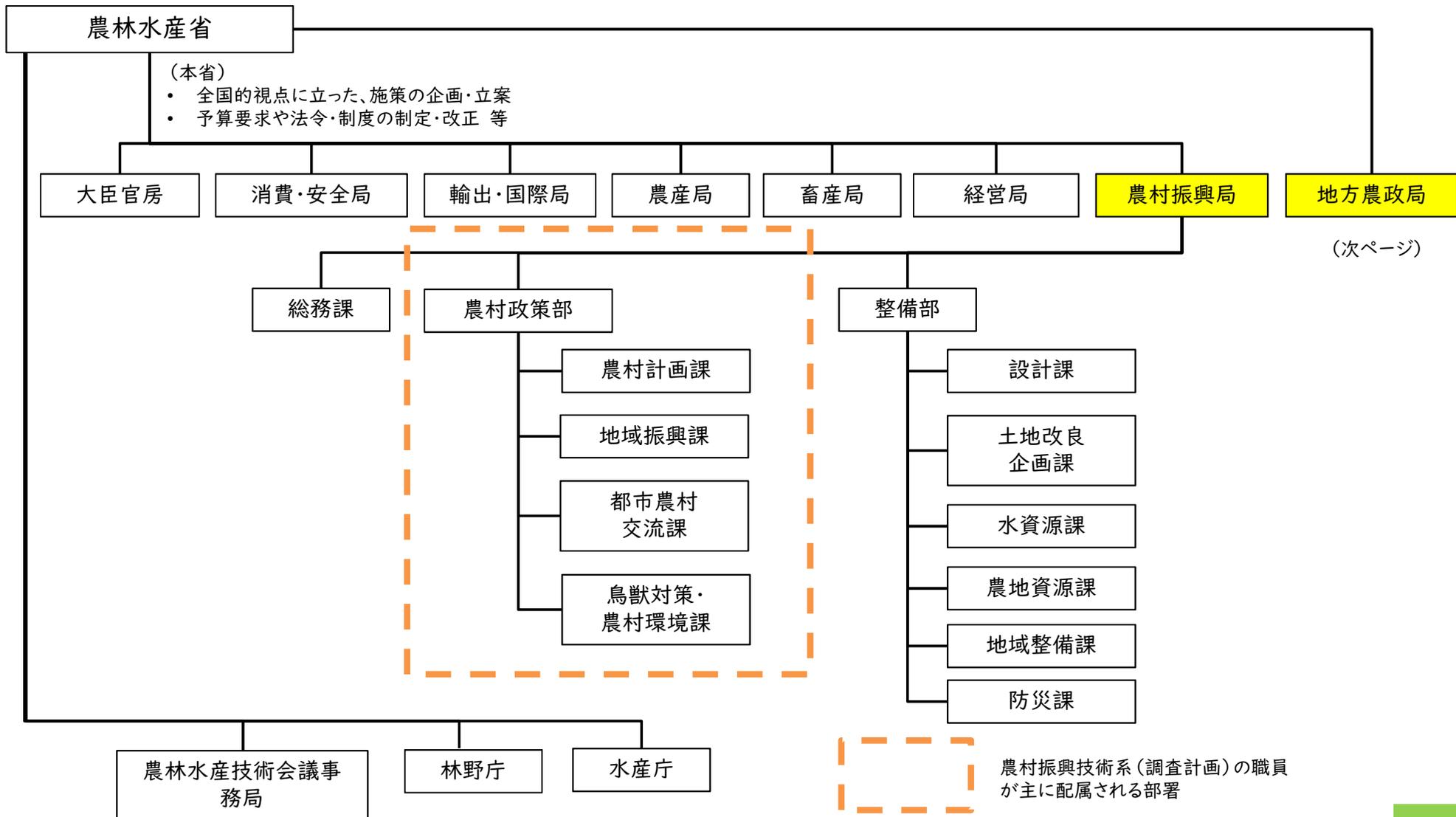
農林水産省の組織	1
農村振興局～農村振興技術系（調査計画）の仕事紹介	6
キャリアパスとワークライフバランスの取組	19
採用について	23



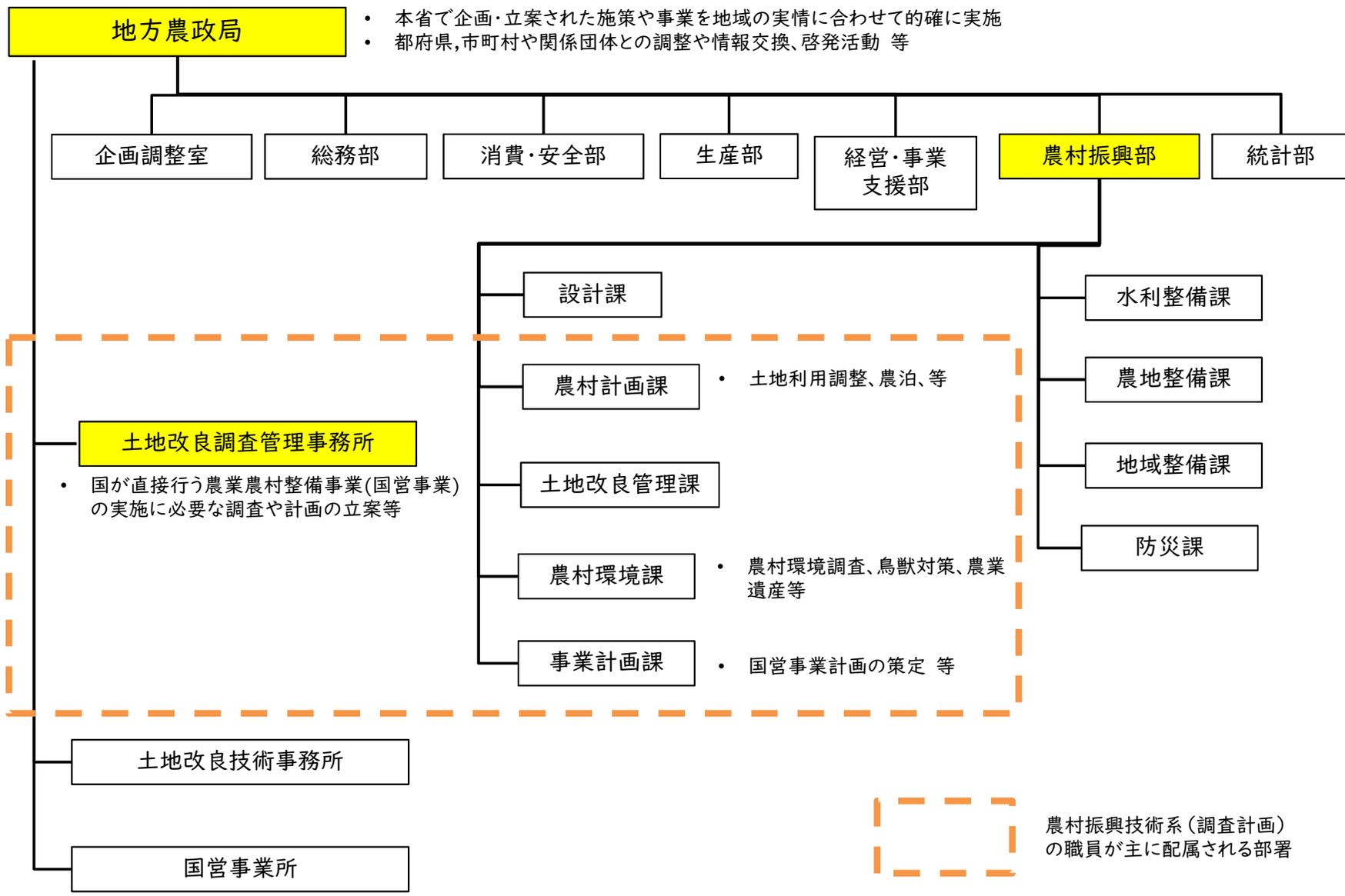
農林水産省の組織

農林水産省の組織

○農業振興技術系（調査計画）で農林水産省に採用されると、主に農林水産省本省の**農村振興局**や**地方農政局**において、農地や農業水利施設等の農業生産基盤の整備に必要な調査・計画、農村地域の活性化と振興に関する業務を担当します。



※ 整備部や農村振興局以外の局にも配属される部署があります。



※ 農村振興部や土地改良調査管理事務所以外にも配属される部署があります。

農林水産省の所在地

農林水産省本省に加え、全国7つの地方農政局があります。
また、各農政局には**土地改良調査管理事務所**（全国15カ所）があります。

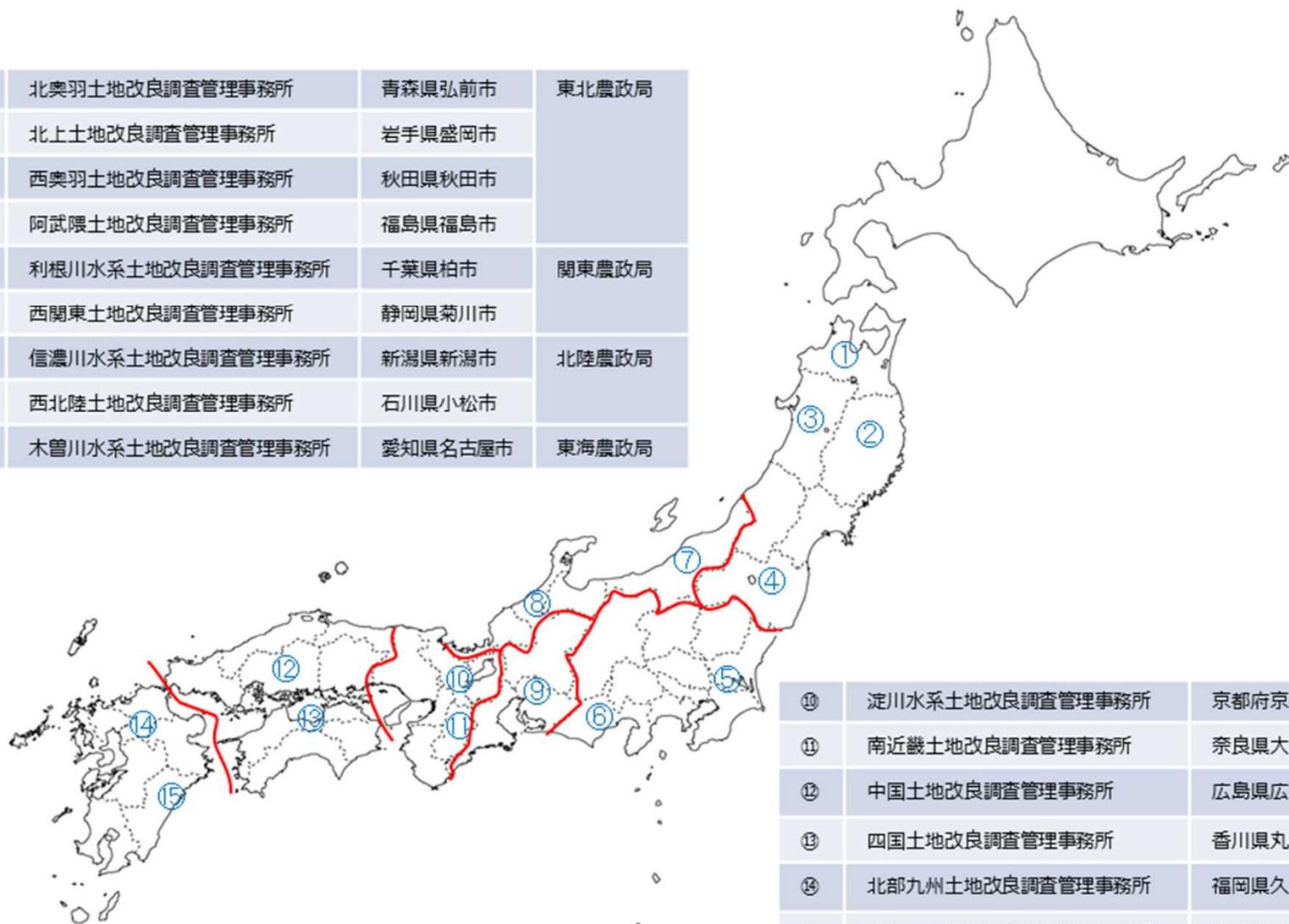
本省・地方農政局の所在地



※北海道、沖縄には、それぞれ国土交通省北海道開発局、内閣府沖縄総合事務局があります。

土地改良調査管理事務所の所在地

①	北奥羽土地改良調査管理事務所	青森県弘前市	東北農政局
②	北上土地改良調査管理事務所	岩手県盛岡市	
③	西奥羽土地改良調査管理事務所	秋田県秋田市	
④	阿武隈土地改良調査管理事務所	福島県福島市	関東農政局
⑤	利根川水系土地改良調査管理事務所	千葉県柏市	
⑥	西関東土地改良調査管理事務所	静岡県菊川市	北陸農政局
⑦	信濃川水系土地改良調査管理事務所	新潟県新潟市	
⑧	西北陸土地改良調査管理事務所	石川県小松市	東海農政局
⑨	木曾川水系土地改良調査管理事務所	愛知県名古屋市	



⑩	淀川水系土地改良調査管理事務所	京都府京都市	近畿農政局
⑪	南近畿土地改良調査管理事務所	奈良県大淀町	中国四国農政局
⑫	中国土地改良調査管理事務所	広島県広島市	
⑬	四国土地改良調査管理事務所	香川県丸亀市	九州農政局
⑭	北部九州土地改良調査管理事務所	福岡県久留米市	
⑮	南部九州土地改良調査管理事務所	宮崎県都城市	

農村振興局

農村振興技術系（調査計画）の仕事紹介



農村振興局の取組

■ 農業用水の確保や農地の整備などによる農業生産性の向上

農業用水を水田で利用するには、堰(頭首工)や水路などの施設を利用し、それぞれのほ場に公平に配分することが不可欠です。

農村振興局では、このような農業用水の供給に必要な施設の整備・保全に加え、営農条件を改善するため水田・畑の整備や、農産物を運搬するための農業用道路の整備など、**土地改良事業(農業農村整備事業)**により**食料生産基盤を整備し、農業生産性を向上**させる取組を進めています。

■ 地域の資源を活用した農村地域の活性化

また、農村は、食料を生産する農業が営まれる場であるとともに、農業者を含めた地域住民の生活の場でもあり、長い年月と様々な人間活動を通じて多様な文化や二次的自然が形作られています。

そこからは、人間の生命の維持に欠くことのできない食料が安定的に供給されるだけでなく、国民に対し、国土や生物多様性の保全、美しく安らぎを与える空間となる景観の形成、文化の伝承、情操教育といった多岐にわたる恩恵(**農村のもつ地域資源**)をもたらしています。

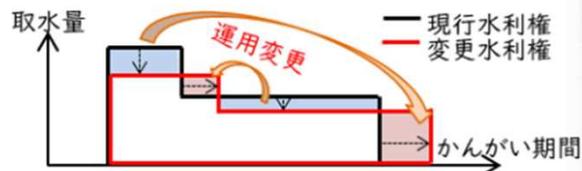
これらの地域の資源を保全・活用しながら、**農村地域の活性化と振興を図る取組**を進めています。



～農業用水の供給施設整備のイメージと農業生産性向上の例～

ダム・ため池等の有効活用

- ・営農形態の変化に合わせてかんがい期間と取水量を見直し



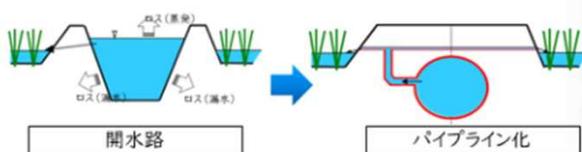
調整池の設置



- ・営農者の水需要に合わせて弾力的に用水を供給できるように、調整池を設置して、水利用の自由度を向上

パイプライン化

- ・用水需要に応じた水利用が可能
- ・配水ロスを少なくして水資源を有効に活用



ICT等の活用



ほ場の用水状況のリアルタイム確認

- ・用水の見回りや施設の操作など、人力に頼ってきた作業にICT等を導入して、管理負担の軽減、水利用の効率化を実現

施設整備による効果

弾力的な水利用により安定的で高品質な農業生産の実現

用水の管理負担の軽減により6次産業化等の推進

きめ細かな水利用により、地域が求める新たな営農が展開



新たな栽培技術の導入
(乾田直播)



水田の畑地化
(キャベツの栽培)



高収益作物の導入
(ブランド化)



6次産業化の推進
(農産加工品の販売)

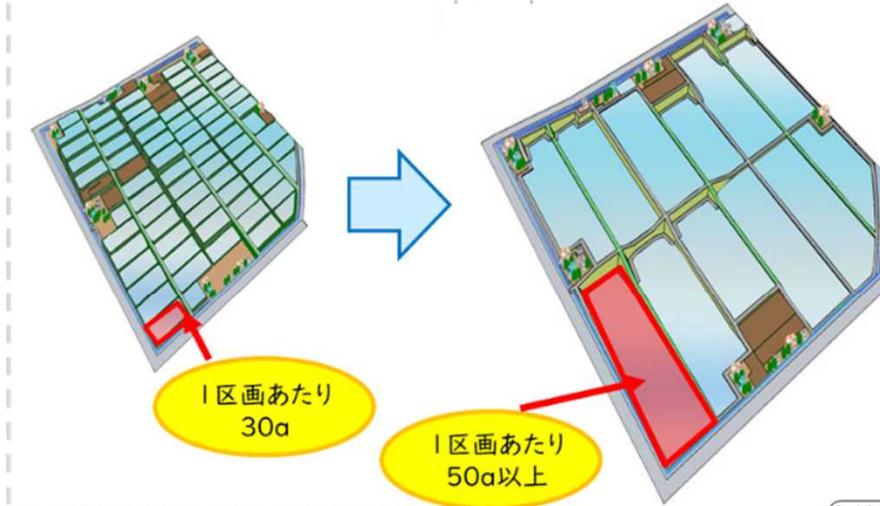
農村振興技術系(調査計画)の職員の仕事

施設の整備を契機とした新たな営農を展開するための計画づくり、その実現に向けた地域の取組を支援します。

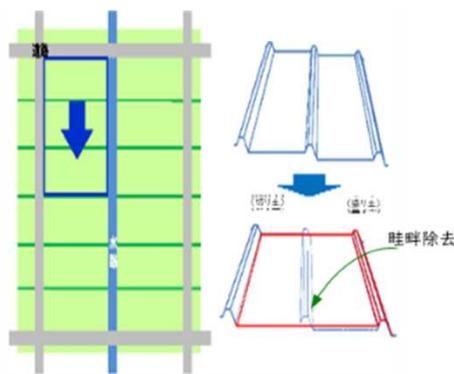


～農地整備のイメージと農業生産性向上の例～

○水田の大区画化による米生産コストの大幅削減
【大区画化のイメージと効果】



けいはん
【畦畔除去による大区画化
(簡易整備)のイメージ】



(資料:農村振興局調べ)
注:平成25年度完了地区(21地区(標準区画13地区、大区画8地区)の担い手聴取調査
※日本再興戦略における担い手の米生産コスト目標(平成35年)

北海道士別市 国営農地再編整備事業(上士別地区)



【ほ場整備後(4枚 5.9ha/枚)】

OGPSを活用した自動操舵トラクター、田植え機を導入



無人1台、有人1台の計2台が協調して作業を行うシステムの試験的な導入



自動操舵システムを活用した田植え作業

これまで3人掛りだった作業が1人ですむように

従来は、作業スペースを確保できないため運転者を挟み2人掛で苗を補給。

農村振興技術系(調査計画)の職員の仕事

農地の整備により生じる余剰労力や節減経費等を活用した新たな営農を展開するための計画づくり、その実現に向けた地域の取組を支援します。



～農村の多様な地域資源の活用のイメージ～

農業・農村は、国民に食料を安定的に供給する場であるとともに、国土の保全や水源のかん養、伝統文化の継承などの多様な地域資源があり、こうした資源の役割が十分に発揮されるよう、農村の振興を図ることが重要です。

再生可能エネルギー（畜産廃棄物や森林資源等の有機性資源、水力、風力、太陽光）
⇒循環型社会の形成、所得の確保



農産物
⇒食料供給、6次産業化、ブランド化（観光資源）



農業用水
⇒食料供給、水循環の形成、生態系保全



伝統文化
⇒文化継承、地域活性化、観光資源



農地
⇒食料供給、国土保全、観光資源（体験農園）



農村コミュニティ
⇒都市農村交流、担い手の確保、伝統文化の保存



農村景観・環境（棚田等）
⇒観光資源（グリーンツーリズム等）、生態系保全



農家（家屋）
⇒観光資源（農泊等）、職場（テレワーク）